

千葉市地域福祉計画の見直しについて② ～検討事項と見直しの視点～

平成22年2月16日 千葉市保健福祉総務課

B 見直しに当たって検討したい事項

① 地域福祉計画の広報・PR

地域福祉の理念および地域福祉計画を、これまで以上に市民によく理解してもらう。

② 活動団体

地域の福祉力を向上させるため、組織活動を活性化させる。組織・団体の枠を超えた連携を強化する。

③ 活動拠点、活動資金

活動拠点を確保するため、既存施設を有効活用する。地域福祉活動の活動資金を、地域で賄う仕組みづくりを目指す。

④ 高齢者の見守り支援

高齢者等の見守り支援のあり方を検討する。

⑤ 担い手・コーディネーター（調整役）

担い手を確保する方法、地域のリーダーやコーディネーターを発掘・養成する方法を検討する。

⑥ 障害者への支援

地域福祉（地域住民の支え合い助け合い）の視点で見た障害者への支援について、検討する。

⑦ 区計画の推進

区地域福祉計画が具体化・実践されるよう、多方面からサポートする。

⑧ 他地域への展開

先進的な取り組みを市全体に広げる。

C 見直しの視点（例）

①-1 親しみやすさと共感が得られるPR手法

例）誰もが親しみやすくわかりやすい計画書づくり

①-2 市民への直接的な働きかけ

例）地域の様々な組織・団体への直接的なアプローチ（行政と区推進協委員の協働）

②-1 団体の枠を超えた連携

例）適切な圏域ごとにフォーラムを開催

②-2 地域の福祉力の向上

例）活動の地域間格差の解消（他団体の活動事例・内容の紹介 等）

③-1 既存施設の有効活用

例）空き店舗・空き家・公共施設の有効活用

③-2 地域で賄う活動資金

例）活動財源の安定確保

④ 地域で孤立させない見守り活動の普及

例）問題を抱えた人たちの掘り起こし・発見のシステムづくり

⑤-1 新たな担い手の創出

例）ボランティア講座等参加者を、確実に実践につなげるための工夫

⑤-2 やる気につながる仕組みづくり

例）特典制度の導入や、貢献者への表彰制度の検討

⑤-3 リーダー・コーディネーターの養成

例）福祉活動推進員の活性化（講座の充実）

⑥ 心のバリアフリーの推進

例）基盤整備や自立支援の制度などは、公助で実施。地域福祉は、公助で担いきれない共助の範囲の障害者への支援を担う

⑦ 計画の具体化と多方面からのサポート

例）1. 区独自の支援策の検討（助成制度等）
2. ホームページのリニューアルや区ごとの活動手引書の作成
3. 社会福祉協議会の機能発揮

⑧ 事例の紹介

例）区推進協やフォーラムにおける、先進的な取組事例の情報提供・協議